

情報活用能力育成のための指導事例

【特別支援学校 高等部 第2学年 暮らし（家庭・情報を含む特設科目）】

単元・題材名	テレビ会議システムで交流をしよう	指導時間（本時）	3 / 6
本時の目標	教科・科目	<ul style="list-style-type: none"> 交流に参加できる。 ICTを活用して遠くにいる相手と楽しくコミュニケーションができる。 	
	情報教育（3観点8要素）	<p>[実践] ■課題や目的に応じた情報手段の適切な活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ■受け手の状況などを踏まえた発信・伝達 <ul style="list-style-type: none"> 伝える内容に合わせ、手振りを入れたり口調や表情を考えたりして話す。（モA42-2-020） <p>[態度] ■望ましい情報社会の創造に参画しようとする態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 受け手の気持ちや状況を考えて、情報を発信する。（モC22-3-050） 情報通信ネットワークの特性を踏まえた、効果的なコミュニケーションの方法を知る。（モC22-5-020） 	
活用する主なICT機器等	■コンピュータ ■プロジェクタ ■インターネット ■Webカメラ ■テレビ会議システム		
本時の概要	テレビ会議システムで県外の特別支援学校と交流させる。事前にテレビ会議システムの仕組みや交流の目的などを指導しておき、本時は自己紹介や発表・質問、レクリエーションなどを実際に体験させ、情報社会に参画する態度を養う。		
本時の流れ	主な学習活動		ICT活用の工夫及び留意点等 (○：教員の活用，◎：児童生徒の活用)
	導入	1 本時の目標を確認する。 2 交流相手の確認をする。 (県外の特別支援学校)	○ 本時の目標や交流相手の確認をプロジェクタで拡大提示する。
	展開	(通信を開始する) 3 テレビ会議システムによる交流を行う。 <ul style="list-style-type: none"> あいさつ 自己紹介 質問 レクリエーション (通信を終了する)	◎ テレビ会議システムを体験させる。 ※ 通信に時間差が生じるため、その内容や発表をしっかりと聞き、しばらく待ってから応答させるようにする。 ※ 自分のことを相手にはっきりと伝えられるように、声や身振りを大きくするように心掛けさせる。
	終末	4 本時の振り返りをする。 5 次時の予告を聞く。	
使用した教材・資料（コンテンツ）	○名称・出典・内容など		
ICT活用の指導上のポイント	<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議を用いて、離れた人々との交流活動を通して、受け手に配慮しながら積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けさせる。 		
備考	○ICT活用に関して日頃から気を付けていることなど <ul style="list-style-type: none"> 事前にテレビ会議システムとは何かを学習させている。 		

【本時の目標における情報教育（3観点8要素）の略記について】

「情報活用の[実践]力」→ [実践]，「情報の科学的な[理解]」→ [理解]，「情報社会に参画する[態度]」→ [態度]

「情報活用能力育成モデルカリキュラム」の対応番号→モ番号